

会計年度任用職員（男女平等参画推進センター専門相談員） 筆記試験小論文原稿用紙

【設問】

下記は電話相談の事例です。あなたは専門相談員として、電話相談の中でどのように対応しますか。男女平等参画推進センター「女性のための総合相談」を行う専門相談員として必要な視点にも触れながら、対応方法を具体的に述べてください。

相談者Aさん（パート）48歳、夫（会社員）49歳、長女18歳（高3）、二女14歳（中2）

結婚して21年。夫は仕事で帰りも遅く、家事や育児はAさん一人で担ってきた。生活費の管理は結婚当初から夫がしていて、毎月決まった額を渡される。長女が高校入学の時、制服代などまとめた金額が必要だと伝えると夫はとても不機嫌になつて家計簿を細かくチェックしてあれこれと責められた。また、「子どもが自分で父親に話すべきだ」とも言って、「言ひ方がなつてない」などと長時間にわたつて説教をした。高校3年になり大学受験を前にして、予備校に行かせたいと考えているが、また同じようなことになるかと思うと切り出せないでいる。

パートの収入も家計の補填に消えてしまうため、できるだけ切り詰めて生活しているが余裕がない。両親の反対を押し切って結婚をしたため、そのころから両親とは連絡を取っておらず今更頼ることができない。Aさんは夫の給与明細を見たがないので、どのくらい収入があるのか知らない。日々の生活がとてもつらく離婚も頭をよぎるが、今の収入ではこれからいろいろと教育費がかかる子どもを抱えて一人で育てていける自信はない。

長女は学業成績が伸び悩みいつもイライラしており、父親に反抗的な態度を取るため、言い争いがヒートアップしていく。Aさんが何とか収めようとするが「Aのしつけがなっていないからだ。女は大学なんて行かなくていい」と怒鳴られて、かえってひどい状況になってしまう。最近では二女が学校を休みがちになっていることも心配だ。

▲さんも集中力がなくなって職場でミスが続いている。考えがまとまらず、自分ではどうしたらいいのかわからない。

氏名 (自著)

